

主イエス命名日（聖書協会共同訳）

全能の神よ、あなたはみ子に割礼を受けさせ、わたしたちの救いのしるしとして、イエスと名付けられました。どうかこのみ名によってみ民に力と平安を与え、その尊いみ名をすべての国に宣べ伝えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 出エジプト記 34章1～9節

34:1 主はモーセに言われた。「前のような二枚の石の板を切り出さない。そうすれば、私はその板に、あなたが打ち砕いた前の板にあった言葉を書き記そう。2 明日の朝までに板を準備し、朝、シナイ山に登り、山の頂上で私の前に立ちなさい。3 誰もあなたと共に登ってはならず、誰も山のどこにも姿を見せてはならない。羊も牛もこの山の麓で放牧してはならない。」4 そこでモーセは、前のような二枚の石の板を切り出し、朝早く起きて、主が彼に命じられたようにシナイ山に登った。手には二枚の石の板を携えていた。5 すると主は雲に包まれて降り、彼と共にそこに立って、主の名によって宣言された。6 主は彼の前を通り過ぎて、宣言された。「主、主、憐れみ深く、恵みに満ちた神。怒るに遅く、慈しみとまことに富み、7 幾千代にわたって慈しみを守り、過ちと背きと罪とを赦す方。しかし、罰せずにおくことは決してなく。父の罪を子や孫に、さらに、三代、四代までも問う方。」8 モーセは急いで地にひざまずき、ひれ伏した。9 そして言った。「わが主よ、もし私があるあなたの目に適うのなら、どうか私たちの中であって共に進んでください。かたくなな民ですが、私たちの過ちと罪とを赦し、私たちをご自身のものとしてください。」

詩 編 第8編

- 1 わたしたちの主、神よ、み名はあまねく世界に輝き // その栄光は天にそびえる
- 2 幼子と乳飲み子は賛美を歌う // 刃向かう者、逆らう者を鎮めるため、あなたは敵に備えて砦を築かれた
- 3 あなたの指の業の天空を仰ぎ // あなたがちりばめた月と星を眺めて思う
- 4 人とは何者か、なぜ、これにみ心を留められるのか // なぜ、人の子を顧みられるのか
- 5 あなたは人を神に近いものにし // 栄えと誉れの冠を授け
- 6 み手の業を治めさせ // すべてをその足もとに置かれた
- 7 羊も牛も、野の獣もことごとく // 空の鳥、潮路を泳ぐ魚の群れも

使徒書 ローマの信徒への手紙 1章1～7節

1:1 キリスト・イエスの僕、使徒として召され、神の福音のために選び出されたパウロから——2 この福音は、神が聖書の中で預言者を通してあらかじめ約束されたものであり、3 御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、4 聖なる霊によれば死者の中からの復活によって力ある神の子と定められました。この方が、私たちの主イエス・キリストです。5 私たちは、この方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。6 あなたがたも異邦人の中であって、召されてイエス・キリストのものとなったのです。——7 ローマにいる、神に愛され、聖なる者として召されたすべての人たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。

福音書 ルカによる福音書 2章15～21節

2:15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行って、主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝ている乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使から告げられたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらのことをすべて心に留めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の告げたとおりだったので、神を崇め、賛美しながら帰って行った。21 八日がたって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。胎内に宿る前に天使から示された名である。